

「人類は地球温暖化を必ず解決できる」とは 楽観視していない女性たちの“エコ事情”

「おやすみ羊」の湯たんぽや抱きまくら、「なまけたろう」などの癒し系雑貨を企画・開発する株式会社ほんやら堂（群馬県高崎市・藤永辰美社長）は、今後の企業としてのあり方や商品開発に「エコ」の視点を活かすことを目的として、同社商品のエンドユーザーに対して「エコに関する意識調査」を実施しました。

●調査対象： 同社メールマガジン読者。癒しを求める女性 1,120 人が回答。

●調査方法： 2009 年 10 月 30 日～7 日間のオンラインアンケート

調査結果

【1】地球温暖化、10人中9人は「人類は必ず解決できる」とは思わない。

地球温暖化について 83%が「自分でできることはしたい」とエコ活動への関心の高さを示す一方、「人類は必ず解決できる」の設問に同意しなかった割合は 90%と、決して楽観視はしていないことが判明。また、「企業こそ努力すべき」と回答した割合は 36%にとどまり、同社ユーザー“癒しを求める女性”たちは、企業でも人類でもなく「自分で取り組む温暖化対策」を志向していることがうかがえる。

(別紙：図 1)

【2】今や詰め替え容器は当たり前、5人中4人はエコバッグも使用！

具体的に行っているエコ活動の問いに、82%の女性が「シャンプーや洗剤は詰め替えタイプを使っている」、さらに 78%が「エコバッグを使っている」と回答。

このことから、女性は普段の生活、特に消費活動の中でエコを意識している様子がわかる。消耗品の詰め替えタイプは価格的なメリットがあるが、エコバッグは持参する手間を差し引くと、それだけエコへの意識が高まっているとも言える。

(別紙：図 2)

【3】国家レベルの環境政策は、3人に1人が「わからない」

鳩山首相が発表した「温室効果ガスを 2020 年までに、1990 年比 25%削減する」という政策について、支持・不支持を質問したところ、【支持する 53%】【支持しない 11%】【わからない 36%】という結果になった。

“自分で取り組める身近なエコ活動”を志向する女性たちにとっては、「温室効果ガス 25%削減」という目標は大多数は賛成するものの、みずからのエコ活動と比較すると具体的な取り組みがわかりにくかったようである。国をあげて環境問題にあたる時は、エコ意識の高い女性たちが共感するようなテーマも必要なのかもしれない。

(別紙：図 3)

【この報道資料に関するお問い合わせはこちらまで】

株式会社ほんやら堂 マーケティング部 成田

〒370-0851 群馬県高崎市上中居町 45-2

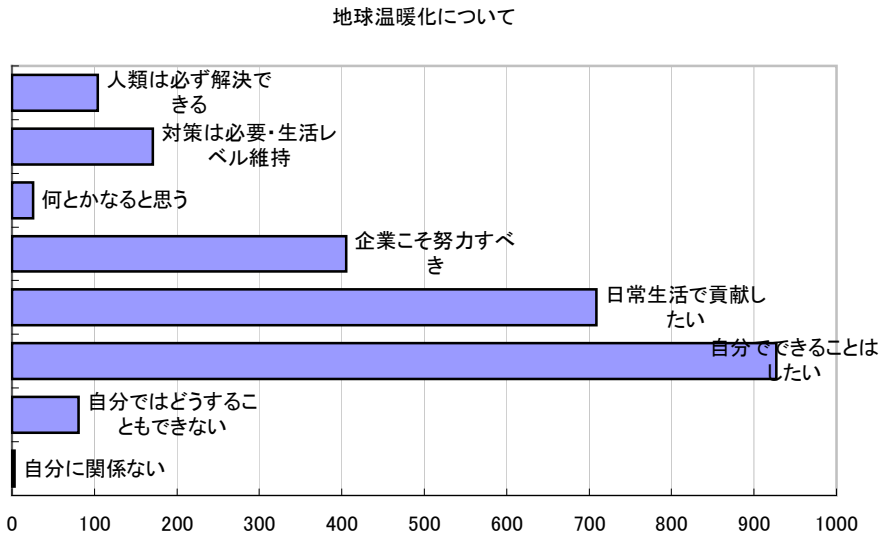
TEL 027-384-2181 FAX 027-310-6226

E-mail:toiawase@honyaradoh.com

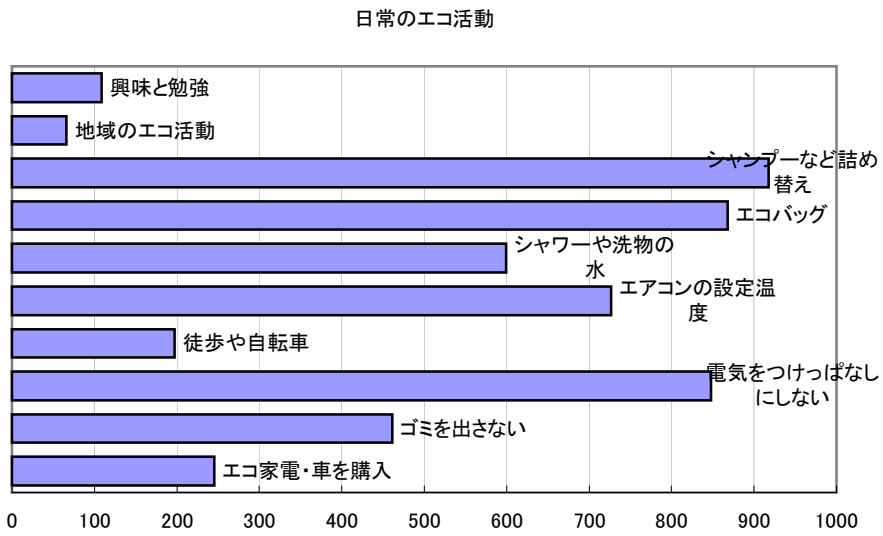
URL:<http://www.honyaradoh.com>

【別紙】「人類は地球温暖化を必ず解決できる」とは楽観視していない女性たちの“エコ事情”

■ 図 1



■ 図 2



■ 図 3

